Kenko

ケンコーデジタルカメラ

DSC 1655Z

COMPACT DIGITAL CAMERA 16Mega Pixels CCD Image Sensor 5xOptical Zoom

取扱説明書

このたびはデジタルカメラ「DSC1655Z」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。

目次

目次

静止画モード

目次

目次

はじめに

このたびはデジタルカメラ「DSC1655Z」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。

■著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。

■本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本製品の使用および故障により生じた、直接/間接の損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■本取扱説明書の図、写真、ディスプレイ画面などは説明のために作成されたもので、一部実際とは異なります。あらかじめご了承ください。

■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。

■製品改良のため予告無く外観、仕様などを変更する場合があります。

■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

■カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

■液晶モニターに使用されている液晶パネルは非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。液晶パネルメーカーの保証値となりますのであらかじめご了承ください。

安全上のご注意 ※必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目を必ずお読みになり、正しくお使いください。
本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の表示で説明しています。

⚠危険	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。
⚠警告	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠危険

■可燃性ガス、爆発性ガスなどが存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。
引火爆発の原因となります。

■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。
発熱、発火、破裂の危険があります。

■本製品を高温の場所(真夏の車内、窓辺、暖房器具の周辺など)で使用、保管しないでください。

安全上のご注意 ※必ずお読みください。

⚠警告

■本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。

■目に深刻な損害を与える恐れがありますので、至近距離でフラッシュを発光させないでください。

■本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。

■本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。

■本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。
製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。

■カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。

■感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。

■カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。
内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。

■本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。

■小さな付属品を飲み込む恐れがあります。お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。

■ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。

■ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
口にあてて窒息の原因になることがあります。

安全上のご注意 ※必ずお読みください。

⚠ 注意

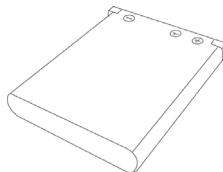
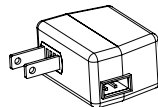
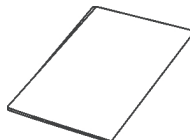
■本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
●砂、ほこり、ちりの多い場所　●火の近く　●湿った場所　●振動の激しい場所　●温度･湿度の変化が激しい場所
■車内は、温度変化が激しく、高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
■カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
■レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
■電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
■本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
■本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。
■ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご主意

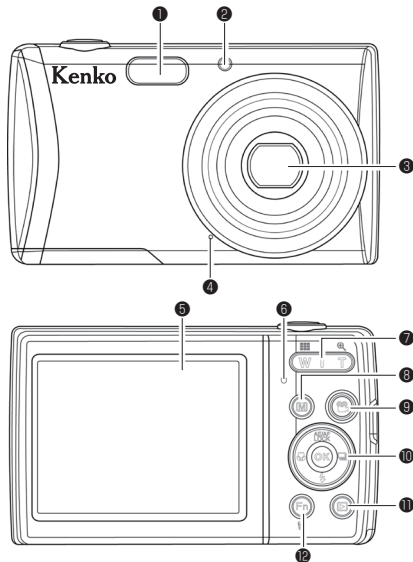
■電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
■撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
■本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニン布で拭き取ってください。
汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。

カメラの紹介

セット内容

以下のセット内容が揃っているか、ご確認ください。

カメラ本体　リチウムイオン充電池　ACアダプター

ストラップ　USB-PC接続コード　クイックスタートガイド　保証に関して／保証書

カメラの紹介

各部の名称

❶内蔵フラッシュ

❷セルフタイマーLEDランプ
（赤点滅:セルフタイマー作動中）

❸レンズ

❹マイク

❺液晶モニター

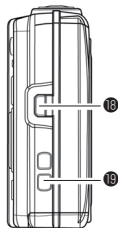
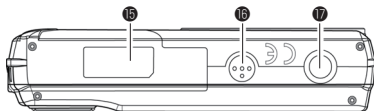
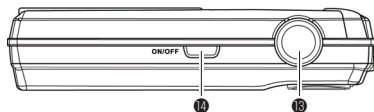
❻充電LEDランプ（緑点滅:充電中）

❼ズームボタン
- ズームイン（T）
- ズームアウト（W）

❽メニューボタン

❾動画撮影ボタン

❿マルチ選択ボタン
- ⓐ上ボタン
- ⓑ左ボタン
- ⓒ下ボタン
- ⓓ右ボタン
- ⓔOKボタン

⓫再生ボタン

⓬機能ボタン

カメラの紹介

⓭シャッターボタン
⓮電源ボタン
⓯電池室カバー
⓰スピーカー
⓱三脚取り付け穴
⓲USB接続端子
⓳ストラップ取り付け穴

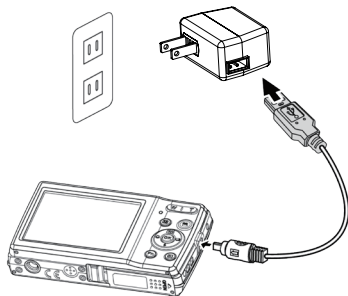
カメラの紹介

ボタンの機能

ボタン	名称	機能
AE/AF LOCK OK	マルチ選択ボタン	上ボタン :各項目･設定時に上へ移動します。 静止画撮影時、AE/AFをロックします。 下ボタン :各項目･設定時に下へ移動します。 静止画撮影時、フラッシュの設定します。 左ボタン :各項目･設定時に左へ移動します。 静止画撮影時、撮影距離を設定します。 右ボタン :各項目･設定時に右へ移動します。 静止画撮影時、連写モードを設定します。 OKボタン:設定モード時に項目を選択/設定します。
ON/OFF	電源ボタン	電源をオン/オフします。
	シャッターボタン	押すと静止画を撮影します。
W I T	ズームボタン	静止画･動画撮影時に右側を押すとズームイン（拡大）、 左側を押すとズームアウト（縮少）します。 動画･音声メモ再生時に右を押すと音量が大きくなります。 左を押すと音量が小さくなります。

ボタン	名称	機能
	録画ボタン	押すと動画を撮影します。 再度押すと録画を終了します。
M	メニューボタン	各項目設定を行います。
Fn	機能ボタン	静止画･動画の機能設定を行います
	再生ボタン	再生モードにします。再度押すと撮影画面に戻ります。

充電池の充電

充電池の充電は、付属のACアダプターを使用して行います。
カメラに充電池を取り付けます。P.17「充電池の取り付け」をご覧ください。
図のように付属のUSB-PC接続コードのミニUSBプラグをカメラのミニUSB端子に接続し、ACアダプターをコンセントにセットしてから、もう一方のUSBプラグ(大きい)をACアダプターに接続します。
カメラの緑色LEDランプがゆっくり点滅し、充電が行われます。充電が完了すると消灯します。

◆電池残容量は液晶画面上のバッテリーアイコンに表示されます。
- 電池の残量は充分です。
- 電池の残量は半分以上あります。
- 電池残量が少なくなりました。充電の準備をしてください。
- 充電してください。

◆電池残量表示は目安になります。
◆電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを長期間(およそ1ヶ月以上)使用しない場合は、電池を取り出してください。
◆付属のUSB-PC接続コードでカメラとコンピューターに接続することで、充電池へ充電もできます。カメラの電源がオフの時にコンピューターに接続すると充電がはじまります。充電が開始されると緑色LEDランプが点滅し、充電完了すると消灯します。カメラの電源がオンの時にコンピューターに接続すると、PC接続モードになります。
◆電池は気温0℃以下または40℃以上では正常に作動しない場合があります。カメラを長時間使用すると電池およびカメラが熱くなりますが、これは異常ではありません。
◆電池は充電されておりません。はじめてご使用になる時は、フル充電をしてからお使いください。
◆付属のACアダプター以外で充電すると、トラブルの原因となります。必ず付属のACアダプターまたはパソコンのUSBバスをご使用ください。充電中は、カメラを操作することはできません。

充電池の取り付け

カメラに付属のリチウムイオン充電池をセットします。

カメラに付属している充電池、またはメーカーや販売店が推奨する充電池以外は使用しないでください。

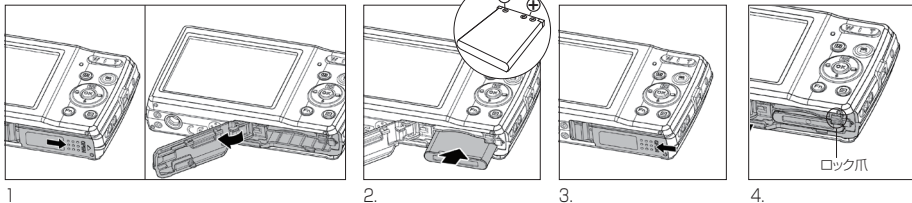
電池の取り付けは、ここに示す方法で行ってください。電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災の原因になることもあります。

1. カメラ底面の電池室蓋を OPEN▷ の方向にスライドさせて開きます。
2. 図を参考に ⊕⊖ 方向を確認して、リチウムイオン充電池をセットします。
3. 電池室蓋を閉じ、OPEN▷ 反対方向にスライドして完全に閉じます。
4. 充電池を取り外す場合は、ロック爪を▲（液晶モニター）側へスライドすると充電池が少し飛び出します。

1

2.

3.

4.

●電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
●電池は ⊕⊖ 方向に注意し、接点が奥になるように正しくセットしてください。

リチウムイオン充電池に関する安全上の注意

⚠ 警告 :付属のリチウムイオン充電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

①初回使用時はフル充電してください。付属の充電器(ACアダプター)以外で充電しないでください。
②ショート、分解、加熱、充電(+)、(−)の逆方向のセットはしないでください。
③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ店などにお申し出ください。電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断·治療を受けてください。
④リチウムイオン充電池をカメラから取り出して保管·持ち運びの場合、安全のためビニール袋·プラスチックケース等に入れてください。
⑤リサイクルのお願い

※不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉
詳細は、社団法人 電池工業会ホームページ(http://www.baj.or.jp/)をご参照ください。

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項
− プラス端子、マイナス端子をテープなどで絶縁してください。
− 皮覆をはがさないでください。
− 分解しないでください。

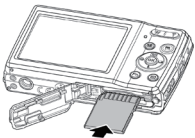
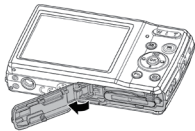
SDメモリーカード(別売)を使用する場合

SD/SDHC/SDXCメモリーカード[別売](以降SDメモリーカードとします)をカメラ底部のSDメモリーカードスロットにセットして撮影録画すると、撮影、録画した画像は自動的にSDメモリーカードに記録されます。

- ●このカメラに使用できるメモリーカードの仕様は、SDメモリーカード32MB〜2GB、SDHCメモリーカード4GB〜32GB、SDXCメモリーカード64GBです。その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。
- ●SDメモリーカードは@(クラス)6以上を推奨します。
- ●内蔵メモリーのユーザ使用可能領域は約33MBです。

SDメモリーカードを取り付ける

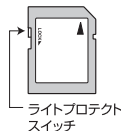
SDメモリーカードはカメラ底面のSDメモリーカードスロットにセットします。

1. 電池室蓋を開けます。P.17「充電池の取り付け」をご覧ください。
2. SDメモリーカードの接触面が上になるようにして、SDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
3. SDメモリーカードを取り外す時は、SDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。SDメモリーカードが少し飛び出ます。

- ◆新しいSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめSDメモリーカードのフォーマット(P.21参照)をしてください。
- ◆撮影画像に付けられるファイル名(FILE XXXX)は、SDメモリーカード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。番号をリセットする場合は、カメラのフォーマット機能(P.21参照)でSDメモリーカードを初期化してください。

- ●差し込みにくい時は、挿入方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- ●SDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- ●すべてのSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
- ●他のカメラなどのファイルが保存されているSDメモリーカードをセットすると、誤作動を起す場合があります。

SDメモリーカードを使用する前に

◆新しいSDメモリーカードは使用前に本製品でフォーマット（初期化）を行ってください。
◆SDメモリーカードをセットすると、カメラはSDメモリーカードを認識し、内蔵メモリーを認識しません。
◆この他にも、取扱に関する注意事項がP.7～10に記載されておりますので、必ずよくお読みください。
●パソコンに接続、データ転送中や、撮影／再生中にSDメモリーカードを引き抜かないでください。
●パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモリーカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモリーカード、およびカメラ本体が破損する恐れがあります。
●SDメモリーカードのフォーマット（初期化）はカメラで行ってください。
本製品にはSDメモリーカードのフォーマット（初期化）機能があります。必ずフォーマットは本製品で行ってください。
フォーマットすると、SDメモリーカードに記録されているデータはすべて消去されますのでご注意ください。
●ライトプロテクトスイッチについて
SDメモリーカードはライトプロテクトスイッチ機能により図のようにスライドするとロックされます。
これによりSDメモリーカードへの記録、消去が禁止され、保存データは保護されます。
記録／消去する際はロックを解除してください。
◆下記の注意事項をよくお読みいただき、正しくお取り扱いください。

ライトプロテクトスイッチ

ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害が出る可能性があります。

●SDメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
●SDメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われるとことがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
●SDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は本製品のフォーマット機能をお試しください。（フォーマットすると、記録されているデータはすべて消去されますので、あらかじめご了承ください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。）
●電極部（金色の金属部分）が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。

SDメモリーカードのフォーマット

SDメモリーカードをフォーマット（初期化）する機能です。

◆SDメモリーカードがセットされていない場合は内蔵メモリがフォーマット（初期化）されます。

●SDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
●フォーマットを行うとSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
●SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。
（パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。）
●保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
●フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
●SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチ（P.20参照）でロックしている場合、フォーマットは行われません。

1. カメラの電源を入れてメニューボタン Ⓜ を押します。
2. マルチ選択ボタン（以降、マルチ選択ボタンを省略して上または下、左または右ボタンと記載）の左または右ボタンを押して、「設定」にします。

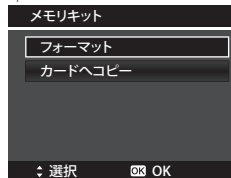
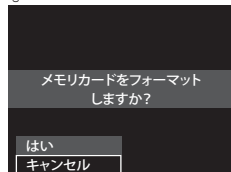
●次ページへ

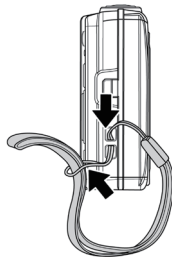
（前ページの続き）

3. 上または下ボタンを押して「メモリキット」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押し、サブメニューを表示します。
4. 上または下ボタンを押して「フォーマット」を選択してOKボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択してOKボタンを押します。

はい　　　　：SDメモリーカードまたは内蔵メモリーのフォーマットをします。
キャンセル　：フォーマットしません。

6. 撮影画面に戻ります。

◆選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。
◆フォーマットすると全てのデータが削除されますのでご注意ください。プロテクトされたデータも削除されます。
◆ 削除されたデータ（画像など）は元に戻りませんのでご注意ください。
◆SDメモリーカードがセットされていない場合は、内蔵メモリーがフォーマットされます。
◆設定により表示は異なります。
◆フォーマット時にファイル番号をリセットするには、P108「ファイル番号」をご参照の上、リセットを選択してからフォーマットを行ってください。

ストラップの取り付け

図を参考にして、ストラップを取り付けてください。

電源のオン／オフ

カメラの電源をオンにするためには、以下の2つの方法があります。

1.電源ボタンを押すと、撮影モードの状態で電源がオンになります。同時にレンズカバーが開きズームします。

2.2秒以上再生ボタン ▶ を押し続けると、再生モードの状態で電源がオンになります。この場合、レンズは開きません。

1、2、いずれの方法で電源オンにした場合も、電源ボタンで電源オフになります。

◆電源を入れると、緑色のLEDランプが点灯し、液晶モニターが表示されます。
◆一定時間以上カメラを使用しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。P.105「省電力」をご覧ください。

日付けと時刻の設定

カメラをご使用の前に、日付と時刻の設定を行います。

1. カメラの電源をオンにし、メニューボタン Ⓜ を押します。
2. 右または左ボタンを押して「設定 🔧 」を選択し、設定メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して「日時」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。
4. 左または右ボタンを押して項目を選択し、上または下ボタンで数値を調整し、右ボタンを押して次の項目(例えば年→月)に移動します。
5. 年／月／日の表示順序を変更する場合は、年／月／日の項目を選択し、上または下ボタンを押して、表示順序を決定します。
6. すべての数値の調整が終わりましたらOKボタンを押します。
7. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

1

3

4

◆日付／時刻は初期設定(全てリセット)しても初期設定には戻りません。
◆ 選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。
◆ 設定により表示は異なります。
◆ 日付／時刻は、静止画･動画共にファイルデータとして記録されますので、できるだけ正確に設定してください。

言語の設定

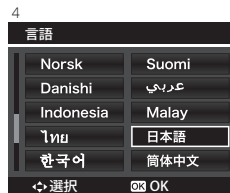
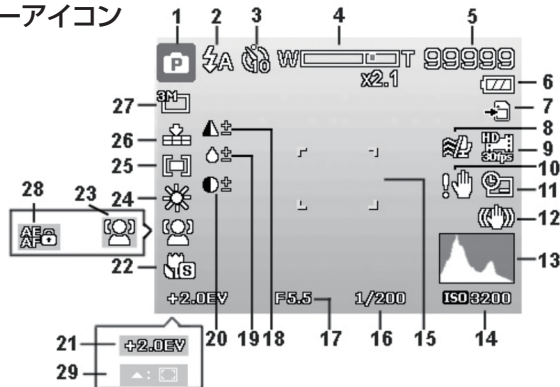
カメラをご使用の前に、言語の設定を行います。

1. カメラの電源をオンにし、メニューボタン Ⓜを押します。
2. 右または左ボタンを押して「設定 」を選択し、設定メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して「言語」を選択し、
   OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。
4. 上／下または左／右ボタンを押して使用する言語を選択し、
   OKボタンを押します。
5. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

1

3

4

◆言語は初期設定（全てリセット）しても初期設定には戻りません。
◆ 選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。
◆ 31の言語に対応しています。
◆ 設定により表示は異なります。

液晶モニターアイコン

撮影モード

※上記の液晶モニター表示は設定上のイメージです。
実際には表示されないアイコンもあります。

1	モード	現在の撮影モードを表示します。
2	フラッシュモード	現在のフラッシュ設定を表示します。P.38参照
3	セルフタイマー/連写モード	現在のセルフタイマー(時間)、または連写モードの設定を表示します。P.40、P48参照
4	ズームインジケータ	ズーム領域を表示します。P.33、P54参照
5	記録可能枚数(目安です)	利用できる残り枚数を表示します。
6	電池残容量	バッテリーレベルを表示します。P.16参照

7	メモリー	現在使用中の記録媒体（内蔵メモリ、またはSDカード）を表示します。
8	風カット	動画撮影中、風による雑音を軽減します。P.74参照
9	動画サイズ	動画サイズを表示します。P.73参照
10	手ぶれ警告	光量不足による手ぶれ警告。手ぶれ軽減、フラッシュまたは三脚の使用を推奨します。P.32参照
11	日付プリント	日時が撮影画像に記録されます。※日付けアイコンは表示されません。P24、P55
12	手ぶれ軽減	手ぶれ軽減機能が作動していることを表示します。P.58参照
13	ヒストグラム	ヒストグラムを表示します。
14	ISO感度	現在のISO感度を表示しています。P.64参照
15	メインフォーカスフレーム	フォーカス領域（顔追跡、ワイド、中央部重点、AF追跡）を表示しています。P.49参照
16	シャッタースピード	現在のシャッタースピード設定を表示しています。
17	絞り値	現在の絞り値設定を表示しています。
18	シャープネス	現在のシャープネスの設定を表示しています。P.50参照
19	彩度	現在の彩度の設定を表示しています。P.51参照
20	コントラスト	現在のコントラスト設定を表示しています。P.52参照
21	露出補正	現在の露出設定を表示しています。P.62参照
22	撮影距離	現在の撮影距離設定を表示しています。P.39参照
23	顔追跡	顔追跡機能が作動していることを表示します。P.49参照
24	ホワイトバランス	現在のホワイトバランス設定を表示しています。P.63参照
25	測光方式	現在の測光方式を表示しています。P.65参照
26	画質（静止画）	現在の静止画の画質設定を表示しています。P.53参照
27	画像サイズ（静止画）	現在の静止画サイズ設定を表示しています。P.61参照
28	AE/AFロック	AE/AF ロックが作動していることを表示します。P.41参照
29	追跡AF	追跡オートフォーカスが作動していることを表示します。P.49参照

静止画再生モード

1	再生モード	**6**	電池残容量
2	プロテクト（保護）	**7**	メモリー
3	ボイスメモ	**8**	撮影情報
4	キーインジケータ	**9**	DPOF
5	現在のファイル/全てのファイル数	**10**	静止画サイズ

※設定により画面表示は異なります。

動画撮影モード

1 キーインジケータ

2 録画時間/録画可能時間（目安です）

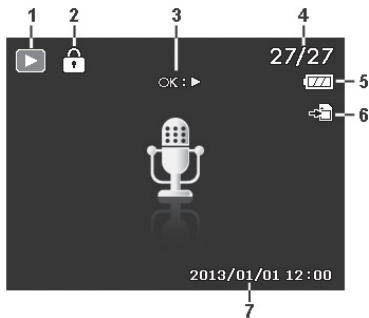
3 録画

※設定により画面表示は異なります。

動画再生モード

1 再生モード
2 プロテクト(保護)
3 動画ファイル
4 キーインジケータ
5 現在のファイル/全てのファイル数
6 電池残容量
7 メモリー
8 撮影日時
9 動画サイズ
10 音量
11 撮影時間
12 再生時間
13 再生

※設定により画面表示は異なります。

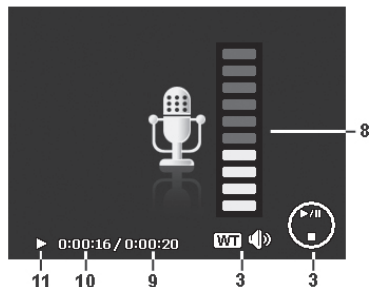
音声メモ再生モード

1 再生モード

2 プロテクト(保護)

3 キーインジケータ

4 現在のファイル/全てのファイル数

5 電池残容量

6 メモリー

7 録音日時

8 音量

9 録音時間

10 再生時間

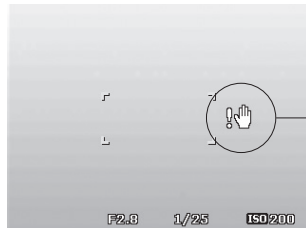
11 再生

※設定により画面表示は異なります。

静止画モード

静止画の撮影

静止画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターで被写体を捉えます。必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
3. シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、カメラをしっかりと構えてシャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。

手ぶれ警告アイコン

◆シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止まるところがあります。ここまで押すことを半押しと呼びます。
◆半押し状態のとき、カメラが自動的に露出とピントを合わせます。ピント･露出が決定するとメインフォーカスフレームが緑色になります。ピントが合わない場合はメインフォーカスフレームが赤色になります。赤色になった場合、正しい撮影距離（P.39参照）で撮影されているかご確認ください。
◆被写体周辺の光量が不足している場合、シャッター速度が遅くなり、液晶モニターに手ぶれ警告アイコンが表示されます。カメラをしっかり構え、手ぶれにご注意ください。フラッシュまたは三脚などの使用をおすすめします。

※設定により画面表示は異なります。

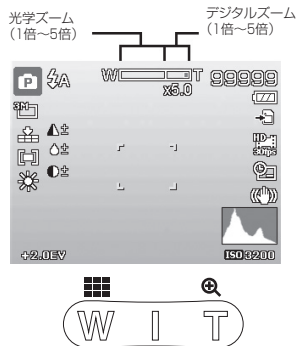
ズーム撮影

カメラには5倍の光学ズームが搭載されています。さらに5倍のデジタルズームと組み合わせ、最大25倍のズーム撮影を行うことができます。

〈光学ズームのみを使用する場合〉

1. ズームボタンの右側 を押すと、光学ズームがズームイン（拡大）します。
2. ズームボタンの左側 を押すと、光学ズームがズームアウト（縮小）します。

〈光学ズーム+デジタルズーム（標準ズーム）を使用する場合〉

1. P.54「デジタルズーム」をご覧の上、デジタルズーム機能が有効になっていることを確認します。
2. ズームボタンを右側 に押すと、光学ズームがズームイン（拡大）します。
光学ズームの倍率が上限の5倍に達すると、ズームが停止します。
3. 一度ズームボタン から指を離し、再度ズームボタンを右側 に押すと、
デジタルズームがズームイン（拡大）します。
4. ズームボタンの左側 を押すと、ズームアウト（縮小）します。デジタルズーム1.1倍でズームが停止します。
5. 一度ズームボタンから指を離し、再度ズームボタンの左側 を押すと、光学ズームがズームアウト（縮小）します。

◆デジタルズーム（標準ズーム）の倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。
◆インテレクトズームを選択した場合、静止画サイズによっては標準ズームのようなデジタルズーム域は表示されません。
◆動画撮影では、デジタルズームを使用できません。
◆ズームの倍率は、設定により異なります。　◆デジタルズーム設定の詳細はP.54をご参照ください。

※設定により画面表示は異なります。

シーンモード

静止画撮影モードを選択します。

1. メニューボタン Ⓜ を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「シーンモード」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

AUTO	オート	自動設定で静止画を撮影します。
P	プログラム	DSC1655Z の機能をフルに活用します。
	インテリジェント	ビギナー（初心者）向けのモードです。P.37をご覧ください。
	ポートレート	人物（ポートレート）の撮影に適しています。
	風景	距離を無限に設定し、風景をくっきり鮮やかに撮影します。
	夕日	夕陽の撮影に適しています。深い色味を演出します。
	逆光	逆光撮影での障害を低減します。
	キッズ	子供の撮影に適しています。しばらく被写体にピントを合わせ続けます。
	夜景	暗い場面での撮影に適しています。三脚などの使用をおすすめします。

静止画モード

	モード	トイカメラ風に撮影します。
	花火	きれいに花火を撮影します。三脚などの使用をおすすめします。
	雪景色	雪景色の撮影に適しています。
	スポーツ	動きの速い被写体の撮影に適しています。
	パーティ	室内での結婚式やパーティでの撮影に適しています。赤目軽減機能が有効になります。
	キャンドルライト	ロウソクの明かりで、雰囲気のある写真が撮影できます。三脚などの使用をおすすめします。
	夜景ポートレート	夜間または暗い背景での人物の撮影に適しています。三脚などの使用をおすすめします。
	肌色	人物の肌色を綺麗に撮影します。
	流水	流水の撮影に適しています。三脚などの使用をおすすめします。
	食べ物	彩度を高め、食べ物を美味しそうな色に仕上げます。
	建物	縁を強調して撮影します。建物などの撮影に適しています。
	文字	印刷物など、白黒はっきりと強調します。
	木の葉	植物の緑色を鮮やかに再現します。
	オークション	複数のカット（4 カット以内）を一枚の画像に仕上げます。P.45をご覧ください。
	スマイルキャプチャ	笑顔を検出すると、自動的にシャッターが下ります。P.42をご覧ください。

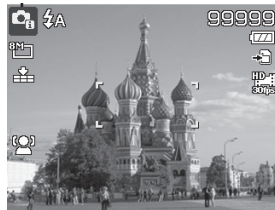
静止画モード

	まばたき検出	人物が撮影時にまばたきをした際、ファイルの保存またはキャンセルを選択できます。
	多重撮影 ※多重露光ではありません	他の人に自分を撮影してもらうとき、あらかじめ希望する背景を自分で仮撮影することで、その背景イメージが半調で表示され、撮影位置の目安となります。 P.44「多重撮影」をご参照ください。
	恋人	二人の顔を検出すると、自動的に約2秒後に撮影します。
	自画像	カメラを向けたご自身の顔を検出すると、自動的に約2秒後に撮影します。
	D-Lighting	部分的にデジタル処理を加え、被写体の明暗差を自然に近づけます。
	タイムラプス	タイムラプス(インターバル撮影･微速度撮影)によるコマ撮り動画が撮影できます。
	録音	音声を録音します。P.75「音声の録音」をご覧ください。

◆静止画専用機能になります。動画撮影では機能しませんので、あらかじめご了承ください。
◆オート、プログラム、インテリジェントが基本モードになります。
◆すべての撮影条件での動作を保証するものではありません。

インテリジェント

撮影状況に合わせて、カメラが自動的に最適なシーンモードに設定します。
ビギナー(初心者)の方にお勧めです。

1. 「インテリジェント」に設定します。
   P.34「シーンモード」をご覧ください。
2. 液晶モニターで被写体を捉えると、カメラが撮影状況に合わせた最適なシーンモードに切り替えます。
3. シャッターボタンを半押しして露出とピントを合わせ、シャッターボタンを完全に押して撮影します。

◆液晶モニター左上に、設定中のインテリジェント シーンモード アイコンが表示されます。
◆顔を検出すると、白いフレームが表示されます。
◆すべての撮影条件での動作を保証するものではありません。
◆静止画のみの機能です。

※設定により画面表示は異なります。

フラッシュ撮影

内蔵フラッシュを設定します。フラッシュモードは撮影条件に応じて変更します。

1.下ボタンを押して、フラッシュモードを切替えます。

⚡A	オートフラッシュ	被写体周辺の光量が不足している場合、自動的にフラッシュが発光します。
⚡◉	赤目軽減	暗い場所などでの撮影時に被写体の目が赤くなるのを最小限に抑えます。フラッシュは二度発光します。
⚡	フォースオン（強制発光）	どんな状況でもフラッシュが発光します。逆光などでの撮影時におすすめします。
⚡SL	スローシンク	フラッシユを発光しながら、遅いシャッター速度で撮影します。手前の人物だけではなく背景もある程度写ります。手ブレを防ぐため三脚の使用をおすすめします。
Ⓢ	フォースオフ（発光禁止）	どんな状況でもフラッシュが発光しません。博物館などフラッシュが禁止されている場所や、被写体までの距離が離れている場合におすすめします。

〈フラッシュの有効範囲〉 約0.5m～3m（Wide）、0.5m～1m（Tele）

◆静止画のみの機能です。　◆フラッシュの充電中は、撮影できません。
◆電池残量が少ない場合、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。
◆撮影モードなどにより選択できるフラッシュモードが異なります。また使用できない場合もあります。
◆連写モードおよびAEB モードの場合、フラッシュは使用できません。
◆電源をオフにすると設定は自動に戻ります。(シーンモードが「オート」の場合、「プログラム」の場合は、戻りません)
◆被写体が白っぽいあるいは光を反射する物では、露出オーバになる場合があります。
この場合は、露出補正してください。P.62 「露出補正」をご覧ください。

※設定により画面表示は異なります。

静止画モード

撮影距離

フォーカスモードを設定します。

正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。

1. 左ボタンを押して、フォーカスモードを切り替えます。
   ボタンを押すごとにフォーカスモードが切り替わります。

表示	モード	撮影距離	備　考
AF	オートフォーカス	約0.05m～∞(W) 約0.6～∞(T)	通常の撮影モードです。
	スーパーマクロ(近接)	約5cm(W)	文字や草花などの小さな被写体にピントを合わせます
PF	パンフォーカス	――――	この機能は使用できません。 あらかじめご了承ください。
	インフィニティ(無限遠)	∞(無限遠)	遠くの被写体にピントを合わせます。風景撮影に適しています。
MF	手動フォーカス	約30～100cm(W)	手動(上または下ボタン)でピントを合わせ、シャッターを押します。

◆電源をオフにすると、標準(オートフォーカス)モードに戻ります。
◆撮影モードなどにより、選択できる距離設定は異なります。また、距離設定できない場合があります。
◆手動フォーカスは、撮影後、プレビューなどでご確認ください。

※設定により画面表示は異なります。

連写モード

連続撮影の設定をします。

1. 右ボタンを押して連続撮影モードを切り替えます。

ボタンを押すごとに連続撮影モードが切り替わります。

下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

	オフ	連続撮影モードを設定しません。
	連写	シャッターボタンを押している間、連続撮影を行います。 約2秒間隔で撮影します。 シャッターボタンから手を離すと、連続撮影を終了します。
	高速連写	シャッターボタンを1回押すと、VGAサイズで約1秒間に30枚撮影します。
	露出連写	シャッターボタンを1回押すと、自動的に露出をずらして、静止画を3枚撮影します。

◆撮影モードなどにより選択できる連写は異なります。また、連写できない場合があります。
◆電源をオフにすると、設定はオフ(1枚撮影)に戻ります。
◆静止画のみの機能です。

※設定により画面表示は異なります。

AE/AFロック

AE/AF(露出/焦点)をロックします。

1. 被写体を画角中央に捕え、上ボタンを押します。
   モニター左側に「AE/AF🔒」ロックアイコンが表示されます。
2. シャッターを押して撮影します。
3. ロックを解除するには、上ボタン、またはズームボタンを押します。

1

◆AEロックのみ、AFロックのみの選択も可能です。P.67「AE/AFロックの設定」をご覧ください。
◆撮影モードなどにより、AE/AFロックは設定できない場合があります。
◆カメラを動かすと露出/焦点が合わない場合がありますのでご注意ください。
◆電源をオフにすると、設定はAF(オートフォーカス)に戻ります。
◆静止画のみの機能です。

※設定により画面表示は異なります。

スマイルキャプチャ(笑顔認識)

笑顔を認識すると、自動的にシャッターが下ります。

1. 「スマイルキャプチャ☻」に設定します。
   P.34「シーンモード」をご覧ください。
2. カメラを構え、液晶モニターで被写体を捉えます。
3. 顔を認識するとフォーカスフレームが表示されます。
4. 撮影準備が整うとフォーカスフレームが緑色に変わります。
5. 笑顔を認識すると自動的にシャッターが下がります。

4

◆人物が2人以上の場合、カメラに最も近い人物の笑顔を検出します。この場合、検出に多少時間がかかる場合があります。
◆笑顔には個人差があるため、すべての状況で動作を保証するものではありません。
◆静止画のみの機能です。

※設定により画面表示は異なります。

まばたき検出

撮影時に人物がまばたきをした際、カメラがまばたきを検出し、
ファイルの保存または削除を選択することができます。

4

1. 「まばたき検出 😵!」に設定します。P.34「シーンモード」をご覧ください。
2. シャッターボタンを半押しして撮影準備が整うとフォーカスフレームが緑色に変わります。
3. シャッターボタンを押して撮影します。
4. カメラがまばたきを検出した場合は、「保存」または「キャンセル」の選択画面が表示されます。
5. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

保存　：カメラに画像を保存します。
いいえ：画像を保存しません。

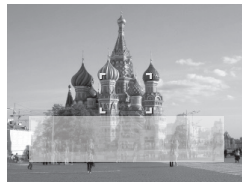
◆すべての状況で動作を保証するものではありません。
◆静止画のみの機能です。

※設定により画面表示は異なります。

多重撮影（背景イメージ表示）

他の人に自分を撮影してもらうとき、あらかじめ希望する背景を自分で仮撮影することで、その背景イメージが半透明で表示され、撮影位置の目安となります。

2

1. 「多重撮影 」に設定します。
   P.34「シーンモード」をご覧ください。
2. 被写体となる方が、希望する背景イメージを捉えシャッターを押します。
   それにより半透明な1/3の背景画像がモニターに表示されます。
3. 撮影する方が、その半透明な1/3の背景イメージをもとにフレーミングしながら被写体となる方が入る位置を指定します。
4. シャッターを押すと、イメージとおりの画像が撮影されます。
   ※最初にシャッターを押したときの背景イメージは保存されません。

3

◆多重露光ではありません。
◆静止画のみの機能です。

※設定により画面表示は異なります。

オークション

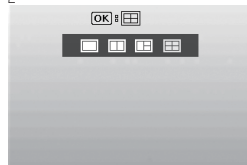
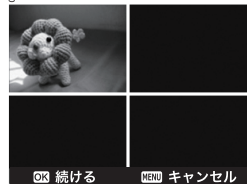
複数のカット(4カット以内)を一枚の画像に仕上げることができます。

1. 「オークション 」に設定します。
   P.34「シーンモード」をご覧ください。
2. 左または右ボタンを押して配置を選択し、OKボタンを押します。
3. シャッターボタンを押して撮影します。
   写りを確認し、続ける場合はOKボタンを押して保存します。
4. 他のカットも同様に撮影して保存します。
   設定したコマ数を撮影すると、右図のような写真が撮れます。

◆静止画のみの機能です。

2

3

4

※設定により画面表示は異なります。

タイムラプス

タイムラプス(インターバル撮影･微速度撮影)によるコマ撮り動画が撮影できます。タイムラプス撮影時、動画アイコンがHD30fps、VGA30fpsいずれの場合も記録サイズは1980×1080(10fps)となります。

1. 「タイムラプス 」に設定します。P.34「シーンモード」をご覧ください。
2. 右ボタンを押して「タイムラプス」の撮影間隔設定を表示します。

30sec	30秒	:約30秒間隔でシャッターが切れます。
1min	1分	:約1分間隔でシャッターが切れます。
5min	5分	:約5分間隔でシャッターが切れます。
10min	10分	:約10分間隔でシャッターが切れます。
30min	30分	:約30分間隔でシャッターが切れます。
60min	60分	:約60分間隔でシャッターが切れます。

3. シャッターを押すと、まず1回撮影し、一度モニターが暗くなります。
その後、設定した間隔の3～4秒前に再びモニターにプレビュー表示され、設定した間隔でシャッターが切れます。次にシャッターボタンを押すまで撮影を続けます。

◆バッテリーの残容量にご注意ください。 ◆静止画のみの機能です。
◆撮影時間を長く設定するとバッテリー容量の制限により記録時間が短くなります。

1

2

※設定により画面表示は異なります。

撮影メニュー

撮影時の設定をします。

1. メニューボタン Ⓜ を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押して、サブメニューを表示します。

シーンモード

P.34「シーンモード」をご覧ください。

※設定により画面表示は異なります。

セルフタイマー[初期設定:オフ]

セルフタイマーを設定します。

1.「セルフタイマー」を選択し、サブメニューを表示します。

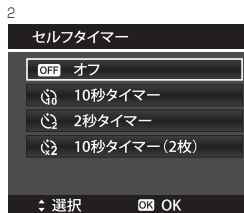
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

OFF オフ	: セルフタイマーを設定しません。
10秒タイマー	: シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影します。
2秒タイマー	: シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影します。
10秒タイマー(2枚)	: シャッターボタンを押してから約10秒後とその2秒後に撮影します。

3. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

◆電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
◆静止画のみの機能です。

1

2

※設定により画面表示は異なります。

AF領域［初期設定：ワイド］

オートフォーカスの領域を設定します。

1. 「AF領域」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

- 顔追跡 ：検出された顔に焦点を合わせます。
- ワイド ：広範囲に焦点を合わせます。
- 中央部重点 ：画角中央部に焦点を合わせます。
- AF追跡 ：中央部に表示されるAFエリアマークにシャッターを半押しして焦点を合わせ、半押しのまま少しカメラを動かすと最初に焦点を合わせた被写体を追跡します。

3. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

◆プログラムモード時に選択できます。
◆すべての撮影条件で動作を保証するものではありません。
◆静止画のみの機能です。

1

2

※設定により画面表示は異なります。

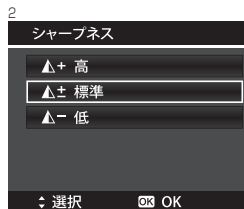
シャープネス[初期設定:標準]

撮影する静止画の鮮鋭度を設定します。

1. 「シャープネス」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
   - 高　:シャープな静止画に仕上がります。
   - 標準:効果を加えません。
   - 低　:ソフトな静止画に仕上がります。
3. メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

1

2

※設定により画面表示は異なります。

彩度[初期設定:標準]

撮影する静止画の彩度(色の鮮やかさ)を設定します。

1. 「彩度」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
   - +高　：彩度を高めた静止画に仕上がります。
   - ±標準：効果を加えません。
   - −低　：彩度を抑えた静止画に仕上がります。
3. メニューボタン を押すと、撮影画面に戻ります。

1

2

※設定により画面表示は異なります。

コントラスト[初期設定:標準]

撮影する静止画のコントラストを設定します。

1. 「コントラスト」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

◑＋ 高　：コントラストを高めた静止画に仕上がります。

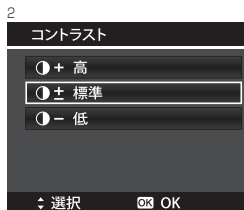
◑± 標準：効果を加えません。

◑－ 低　：コントラストを抑えた静止画に仕上がります。

3. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

1

2

※設定により画面表示は異なります。

画質［初期設定:ファイン］

撮影する静止画の画質を設定します。

1. 「画質」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
   - スーパーファイン：最高画質
   - ファイン：高画質
   - 標準：標準画質
3. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

◆高画質なほど鮮明ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。
◆上記の設定は静止画のみ有効です。

1
2
※設定により画面表示は異なります。

デジタルズーム

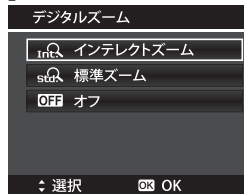
デジタルズーム機能の設定を行います。

1.「デジタルズーム」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

- Int. インテレクトズーム：高解像度を維持してズームイン(拡大)します。
- Std. 標準ズーム：最大5倍までズームイン(拡大)します。
- OFF オフ：デジタルズーム機能を無効にします。

3. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

◆デジタルズームのご使用方法は、P.33「ズーム撮影」をご覧ください。
◆デジタルズームは、シーンモードにより使用できません。また、動画モード･音声モードでも使用できません。
◆インテレクトズームの最大倍率は、静止画サイズによって異なります。
◆プログラムモード時に選択できます。
◆基本モードにより初期設定は異なります。

※設定により画面表示は異なります。

日付スタンプ（日付プリント）[初期設定:オフ]

撮影する静止画に日付をプリントすることができます。

1. 「日付スタンプ」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

   日付のみ　：日付のみプリント設定をします。

   日付&時刻：日付と時刻のプリント設定をします。

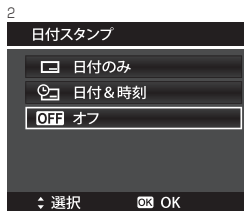
   OFF オフ　　：日付プリント設定をしません。

3. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

◆静止画のみの機能です。
◆日付スタンプ設定時はAEBおよび連写が多少遅くなる場合があります。
◆日付をスタンプした静止画を回転した場合、日付も回転されます。
◆「日付スタンプ」設定時に、カメラの日付／時刻が正しいかを確認してください。

1

2

※設定により画面表示は異なります。

自動表示(プレビュー)[初期設定:オン]

静止画を撮影した直後、撮影した静止画を約1秒間表示します。

1. 「自動表示」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
   ON オン:プレビュー機能を有効にします。
   OFF オフ:プレビュー機能を無効にします。
3. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

1
2
◆静止画のみの機能です。

※設定により画面表示は異なります。

グリッド[初期設定:オフ]

撮影する際、液晶モニターに縦横の線を表示することができます。

1. 「グリッド」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

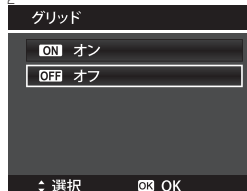
   ON オン:グリッドを表示します。

   OFF オフ:グリッドを表示しません。
3. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

[グリッド表示]

1

2

◆静止画のみの機能です。

※設定により画面表示は異なります。

手ブレ軽減 [初期設定:オフ]

静止画撮影時の手ブレを最小限に軽減します。

1. 「手ぶれ軽減」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

   ON オン:手ぶれ軽減を設定します。

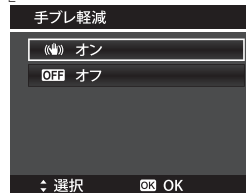
   OFF オフ:手ぶれ軽減を設定しません。
3. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

◆手ブレ軽減機能をご使用の場合、ISO感度は自動的に「オート」になります。
◆被写体周辺の光量が不足しているとノイズが発生する場合があります。
◆手ブレ軽減機能は電子式です。 ◆静止画のみの機能です。

Continuous AF

P.71「Continuous AF」をご覧ください。

ズーム

P.33、54「ズーム」をご覧ください。

※設定により画面表示は異なります。

機能メニュー

静止画モードの様々な機能を設定します。

1. 機能ボタン Fn を押して機能メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して項目を選択します。

◆機能メニューは、設定中の基本モードなどにより、利用可能なメニューが異なります。液晶モニター左側のメニューバーでは、利用可能なメニューが表示されます。
◆選択されている項目は、黄色のアイコンで表示されます。

1

マイモード表示

最近使用した6種類の記録モード（マイモード）を表示します。

1. 「記録モード（マイモード）」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して6種の中から選択し、OKボタンを押します。
   シーンの内容はP.34「シーンモード」をご覧ください。

2

※設定により画面表示は異なります。

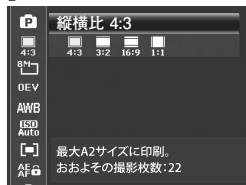
縦横比 [初期設定 4:3]

撮影する静止画の縦横比を設定します。

1. 「縦横比」を選択します。

2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

- 4:3 :縦横比 4:3
- 3:2 :縦横比 3:2
- 16:9 :縦横比16:9
- 1:1 :縦横比 1:1（ソフトウェア補間になります。）

2

◆上記の設定は静止画のみ有効です。

◆縦横比3:2の場合、静止画サイズにより下記のようになります。

1600万画素：8"×12"（4608×3072ピクセル）

800万画素　：6"×9"（3264×2176ピクセル）

500万画素　：5"×7"（2560×1696ピクセル）

300万画素　：4"×6"（2048×1360ピクセル）

※設定により画面表示は異なります。

静止画モード

静止画サイズ[初期設定:16M]

撮影する静止画のサイズを設定します。

1. 「静止画サイズ」を選択します。

2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

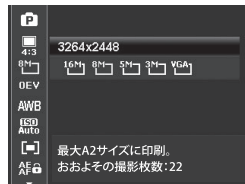
16M :約1600万画素

8M:約800万画素

5M:約500万画素

3M:約300万画素

VGA:約30万画素

2

◆サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモリーカードの撮影枚数が少なくなります。
◆VGAサイズはe-mailなどの添付に適しています。
◆上記の設定は静止画のみ有効です。

※設定により画面表示は異なります。

露出補正［初期設定: 0EV］

手動で露出値を変更する場合に使用します。被写体の撮影結果が暗く潰れる場合は＋（明るく）補正し、明るすぎる場合には−（暗く）補正します。

露出値は、−2.0〜+2.0（1/3EVステップ）の間で調整することができます。

1. 「露出補正」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して補正値を選択し、OKボタンを押します。

2

◆基本モードが「オート」の場合は、設定できません。

※設定により画面表示は異なります。

ホワイトバランス[初期設定:自動ホワイトバランス]

2

手動ホワイトバランスでの色調が思わしくない場合、様々な被写体周辺の状況に応じてホワイトバランスを調整し、希望の色調に近づけます。

1. 「ホワイトバランス」選択画面を選択します。
2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

AWB 自　動：自動で調整します。

晴　天：屋外の晴天時での撮影に適しています。

曇　り：屋外の曇天時、日陰での撮影に適しています。

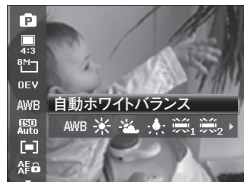
白 熱 灯：室内の白熱灯下での撮影に適しています。

蛍光灯H：室内の蛍光灯下（赤色系）での撮影に適しています。

蛍光灯L：室内の蛍光灯下（青色系）での撮影に適しています。

カスタム：この機能は使用できません。あらかじめご了承ください。

◆基本モードが「オート」の場合は、設定できません。

※設定により画面表示は異なります。

ISO感度[初期設定:オート]

撮影時の感度を設定します。感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。感度を下げると、ノイズが少なくなめらかな画質を得ることができますが、多くの光量が必要となります。

1. 「ISO感度」を選択します。

2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オート：感度を自動で調整します。

ISO 100：屋外の晴天時での撮影に適しています。

ISO 200：屋外の曇天時、または明るい室内での撮影に適しています。

ISO 400：屋外の曇天時、または光量が少ない室内でフラッシュを発光して撮影する場合に適しています。

ISO 800：光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

ISO 1600：光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

ISO 3200：極端に光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

ISO 6400：極端に光量が少ない状況下で、フラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。

◆上記説明はあくまでも目安です。撮影結果を確認しながら、撮影状況に合わせて設定してください。
◆手ブレ軽減機能を「オン」に設定している場合、(P.58参照)、ISO感度は自動的に「オート」になります。
任意のISO感度を設定する場合は、手ブレ軽減機能を「オフ」にしてください。
◆ISO 3200、6400は静止画サイズが3M、VGAの場合のみ選択可能です。
◆基本モードが「オート」の場合は、設定できません。

※設定により画面表示は異なります。

測光方式［初期設定:マルチ］

露出の測光方式を設定します。

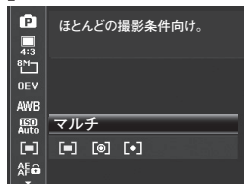
1. 「測光方式」を選択します。

2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

[■] マルチ	：全体的に測光します。
[◎] 中央部重点	：中央部周辺を重点的に測光します。
[•] スポット	：被写体の中央部を部分的に測光します。

2

◆基本モードが「オート」の場合は、設定できません。

※設定により画面表示は異なります。

色効果 [初期設定:オフ]

色効果を加えることで、印象の異なる写真にすることができます。

1.「色効果」を選択します。

2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

- オフ ：効果を加えません。
- 鮮明 ：色味をはっきりと強調します。
- セピア：セピア画像にします。
- カラーアクセント（赤）：赤色系を残し白黒画像にします。
- カラーアクセント（緑）：緑色系を残し白黒画像にします。
- カラーアクセント（青）：青色系を残し白黒画像にします。
- モノクロ:白黒画像にします。
- 赤 ：赤色のフィルターのような効果を加えます。
- 緑 ：緑色のフィルターのような効果を加えます。
- 青 ：青色のフィルターのような効果を加えます。

◆基本モードが「オート」の場合は、設定できません。

※設定により画面表示は異なります。

AE/AFロックの設定 [初期設定: AE-L & AF-L]

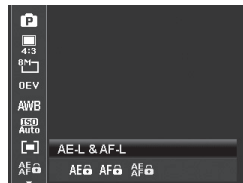
この設定により、「AEロック(露出)」、「AFロック(フォーカス)」、またはその両方「AE/AFロック」のいずれかを指定することができます。

1. 「AE-L&AF-L」を選択します。
2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

AE AE-L：露出をロックします。

AF AF-L：フォーカスをロックします。

AE/AF AE-L&AF-L：露出とフォーカス、両方をロックします。

3. 各ロックを解除するには、上ボタンまたはズームボタンを押します
4. AEロックだけを解除するには、スーパーマクロ、マニュアルフォーカスへ切り換えます。

◆基本モードを「プログラム」に設定してください。

※設定により画面表示は異なります。

特殊効果[初期設定:オフ]

静止画撮影時、特殊効果を加えます。

1.「特殊効果」を選択します。

2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

- オフ：効果を加えません。
- フィッシュアイ：魚眼レンズのような効果を加えます。
- ミニチュア：ミニチュア撮影のような効果を加えます。
- ペイント：描画のような効果を加えます。
- スケッチ：スケッチ画のような効果を加えます。

◆基本モードを「プログラム」に設定し、デジタルズームをオフに設定してください。
P.54「デジタルズーム」をご覧ください。

※設定により画面表示は異なります。

動画の撮影

動画を撮影します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. 液晶モニターで被写体を捉え、必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
3. 録画ボタン を押して撮影を開始します。
4. 上ボタンを押すと、撮影を一時停止します。　再度上ボタンを押すと、撮影を開始します。
5. 再度 録画ボタン を押すと撮影を終了し、撮影画面に戻ります。

◆1ファイルの最大容量は4GBまたは約29分です。
◆メモリー残容量が無くなると、カメラは自動的に撮影を終了します。
◆デジタルズームは、使用できません。
◆ズーム中は、音声は記録されません。
◆動画撮影中および一時停止中は、自動電源オフ機能（省電力）は作動しません。

※設定により画面表示は異なります。

動画モード

ズーム撮影

P.72「ズーム」をご覧ください。

撮影距離

P.39「撮影距離」をご覧ください。

撮影メニュー

撮影時の設定をします。

1. メニューボタン Ⓜ を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。

Continuous AF(連続) [初期設定:オン]

動画撮影時のオートフォーカスを設定します。

1. 「 Continuous AF」を選択し、サブメニューを選択します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

   ON オン:連続AFを設定します。

   OFF オフ:連続AFを設定しません。

3. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

2

2

◆動画のみの機能です。
◆撮影条件により、追尾できない場合があります。あらかじめご了承ください。

ズーム[初期設定:オン]

動画撮影時、光学ズームをオン･オフします。

1. 「 ズーム」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
   ON オン: 光学ズームを使用します。
   OFF オフ: 光学ズームを使用しません。
3. メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

1

2

◆動画撮影ではデジタルズームは使用できません。
◆上記の設定は動画のみの有効です。
◆ズーム操作中は、音声は記録されません。

機能メニュー

動画モードの様々な機能を設定します。

1. 機能ボタン Fn を押して機能メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して項目を選択します。

◆機能メニューは、設定中の基本モードなどにより、利用可能なメニューが異なります。液晶モニター左側のメニューバーでは、利用可能なメニューが表示されます。
◆選択されている項目は、黄色のアイコンで表示されます。

1

動画サイズ[初期設定:VGAp30]

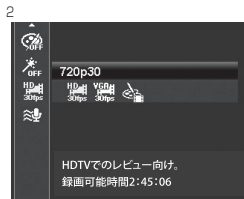
撮影する動画サイズを設定します。

1. 「動画サイズ」を選択します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

720p30 : 1280×720(30fps)-----HDサイズ

VGAp30 : 640×480(30fps)-----VGAサイズ

720p30(ペイント) : 1280×720(30fps)-----HDサイズ/イラスト風な効果を加えて撮影します。

2

◆サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモリーカードの撮影時間が少なくなります。
◆1280×720サイズはSDHC/SDXCメモリーカードを使用することで選択することができます。
◆720p30(ペイント)では、continuous AFでは無効になります。

※設定により画面表示は異なります。

風カット[初期設定:オフ]

動画撮影時、カメラ周辺の風の音を最小限に抑えます。

1. 「風カット」を選択します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オン:風カット機能をオンします。

オフ:風カット機能を使用しません。

ホワイトバランス

P.63「ホワイトバランス」をご覧ください。

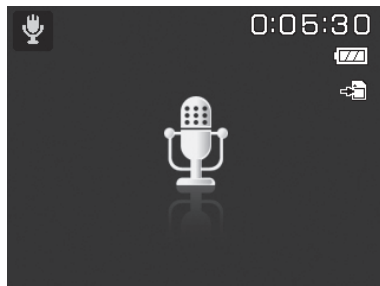
色効果

P.66「色効果」をご覧ください。

※設定により画面表示は異なります。

音声の録音

テープレコーダーのように、音声を録音することができます。

1. メニューボタン Ⓜ を押し、撮影メニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して「シーンモード」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 左または右ボタンを押して「録音」を選択し、OKボタンを押します。
4. シャッターボタンを押して、録音を開始します。
5. 再度シャッターボタンを押すと、録音を終了します。

◆メモリー容量が無くなると、カメラは自動的に録音を終了します。

※設定により画面表示は異なります。

静止画ファイルの再生

静止画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. カメラの電源をオンにして、再生ボタン ▶ を押します。
2. 左または右ボタンを押して、再生したい静止画ファイルを選択します。

2

再生ズーム

静止画ファイルの表示中、画像を拡大表示することができます。

1. 静止画ファイルを表示します。
2. ズームボタンの右を押すと拡大表示、その後ズームボタンの左を押すと縮小表示します。
3. 上／下または左／右ボタンを押して、拡大表示範囲を移動します。
4. 再度、再生ボタン ▶ を押すかシャッターボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

3

◆静止画ファイルのみの機能です。　◆最大12倍まで拡大表示できます。

※設定により画面表示は異なります。

動画ファイルの再生

動画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. カメラの電源をオンにして、再生ボタン ▶ を押します。
2. 左または右ボタンを押して、再生したい動画ファイルを選択します。
3. OKボタンを押して、動画ファイルを再生します。
4. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止することができます。
   再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。
   また、一時停止中に左ボタンを押すとコマ戻し、右ボタンを押すとコマ送りを
   行うことができます。
5. 再生中、左ボタンを押すと早戻し、右ボタンを押すと早送りを行うことができます。
6. 再生中、ズームボタンを押して、音量を調節することができます。
7. 下ボタンを押すと、再生途中でも再生を終了します。

2

3

6

◆一時停止中･早送り/早戻し中は、音量を調節することはできません。

※設定により画面表示は異なります。

動画ファイルの編集

動画ファイルを編集(前後の不要部分をカット)することができます。

1. カメラの電源をオンにし、再生ボタン ▶ を押します。
2. 左または右ボタンを押して、再生したい動画ファイルを選択します。
3. OKボタンを押して、動画ファイルを再生します。
4. 再生中に上ボタンを押して再生を一時停止します。
5. 機能ボタン Fn を押します。動画編集画面が表示されます。
6. 上または下ボタンを押して を選択後、左または右ボタンを押して
   動画ファイルのカットしたい最初の部分を選択します。
   0.5秒ずつ移動し、カットされる部分は青い帯が移動して表示されます。
7. 上または下ボタンを押して を選択後、左または右ボタンを押して
   動画ファイルのカットしたい最後の部分を選択します。
8. 動画を編集後、上または下ボタンを押して ▶ を選択し、OKボタンを押すと編集後の動画を再生します。

6

7

8

※設定により画面表示は異なります。

●次ページへ続く

●前ページの続き

10. 上または下ボタンを押して を選択すると編集後の動画を保存します。
編集後の動画は個別のファイルとして保存されます。上または下ボタンを押して、
下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
保存　　:編集したファイルを保存します。
キャンセル:編集したファイルを保存しません。

11. 編集途中で終了する場合は上または下ボタンを押して、 を選択し、
下記のいずれかを選択しOKボタンを押します。
はい　　:再生画面に戻ります。
キャンセル:編集画面に戻ります。

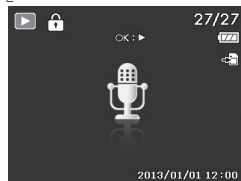
◆黄色アイコンが選択されています。動画編集は約2秒以下の短いファイルではできません。
◆編集された動画は、別ファイルとして保存されます。

※設定により画面表示は異なります。

音声ファイルの再生

音声ファイルを再生します

1. カメラの電源をオンにして、再生ボタン ⓟ を押します。
2. 左または右ボタンを押して、再生したい音声ファイルを選択します。
3. OKボタンを押して、音声ファイルを再生します。
4. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止することができます。
   再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。
5. 再生中、ズームボタンの右または左を押して、音量を調節することができます。
6. 下ボタンを押すと、再生途中でも再生を終了します。

2

5

◆一時停止中は、音量を調節することができません。

※設定により画面表示は異なります。

ボイスメモ(音声メモ)の付加録音

撮影した静止画に音声メモを加えることができます。

1. カメラの電源をオンにして、再生ボタン を押します。
2. 左または右ボタンを押して、音声メモを付加する静止画ファイルを選択します。
3. メニューボタン を押して、「ボイスメモ」を選択し、OKボタンまたは右ボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
   スタート　:音声メモの付加録音を開始します。
   キャンセル:音声メモを付加しません。
5. 録音が開始されます。
6. 再度OKボタンを押すと、音声メモの追加を終了します。

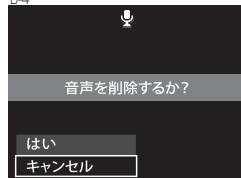
◆音声メモの付加された静止画には アイコンが表示されます。
◆音声メモは最大30秒です。

<音声メモを削除する場合>

B-1. 音声メモを消去するファイルを表示します。
B-2. 再生メニューから「画像消去」を選択し、サブメニューを表示します。
B-3. 上または下ボタンで「音声のみ」を選択し、OKボタンを押します。
B-4. 上または下ボタンで「はい」を選択し、OKボタンを押します。
　アイコンが消えます。

2

4

B-4

※設定により画面表示は異なります。

ボイスメモ(音声メモ)の再生

静止画に付加録音された音声メモを再生します。

1. カメラの電源をオンにして再生ボタン ▶ を押します。
2. 左または右ボタンを押して、音声メモが付加された静止画ファイルを選択します。
3. OKボタンを押して、音声メモを再生します。
4. 再生中に上ボタンを押すと、再生を一時停止することができます。
   再度、上ボタンを押すと、再生を再開します。
5. 再生中、ズームボタンを右または左を押して、音量を調節することができます。
6. 下ボタンを押すと、再生途中でも再生を終了します。

◆一時停止中は、音量を調節することができません。

※設定により画面表示は異なります。

クイック消去

液晶モニターに表示中のファイルを消去します。

1. 消去するファイルを表示します。
2. 機能ボタン Fn を押します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

消去　　　:液晶モニターに表示中のファイルを消去します。

キャンセル:消去しません。

3

※設定により画面表示は異なります。

◆消去したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。
◆再生メニューからファイルを消去する方法もあります。P.86「画像消去」をご覧ください。
◆選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。

回転

液晶モニターに表示中のファイルを回転します。

1. 回転するファイルを表示します。
2. 上ボタンを押します。ボタンを押すごとに時計回りに90°ずつ回転します。

◆静止画のみの機能です。　◆回転した状態で保存されます。

※設定により画面表示は異なります。

サムネイル表示

9分割のサムネイル表示に切り替えます。
ファイルを素早く探すことができ、大変便利な機能です。

1. カメラの電源をオンにして再生ボタン ▶ を押します。
2. ズームボタンの左を押すと、9分割のサムネイル表示に切り替わります。
3. 上／下または左／右ボタンを押し、ファイルの選択（黄枠）を移動します。
4. OKボタンを押すと全画面表示に戻ります。

カレンダー表示

撮影したファイルを日付（カレンダー）の中から素早く探すことができます。

1. カメラの電源をオンにして再生ボタン ▶ を押します。
2. ズームボタンの左を2回続けて押すと、カレンダー表示に切り替わります。
3. 上/下または左/右ボタンを押して日付選択（黄枠）を移動し、OKボタンを押します。
4. 選択された日付のファイルが全画面表示されます。
   左または右ボタンを押して、ファイルを選択します。

◆カレンダー上にそれぞれ表示されたファイルは、当日最初に記録されたファイルになります。
◆ズームボタンの右を押すと、9画面のサムネイル表示に切り替わります。
◆選択した日付のファイル表示をすべて完了した場合、右ボタンをさらに押すと次の撮影日のファイルを表示します。

※設定により画面表示は異なります。

再生メニュー

再生メニューモードの様々な設定を行います。

1. カメラの電源をオンにして再生ボタン ▶ を押します。
2. メニューボタン Ⓜ を押して、再生メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。

◆選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。

画像消去

不要なファイルを消去します。

1.「画像消去」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

一枚：　選択したファイルを消去します。

音声のみ：音声メモの付加された静止画から音声メモだけを消去します。
操作方法はP.81「音声メモ(ボイスメモ)の付加録音」をご覧ください。

マルチ：　同時に複数のファイルを消去します。

全て：　全てのファイルを消去します。

<「1枚」を選択した場合>

A-1. 左または右ボタンを押して、消去するファイルを選択します。

A-2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
消去:　表示中のファイルを消去します。
キャンセル:　消去しないで再生メニューに戻ります。

A-3. ファイル消去後、他のファイルを消去しない場合は
「キャンセル」を選択してOKボタンを押すと、再生メニューに戻ります。

A-4.メニューボタン Ⓜ または再生ボタン ▶ を押すと再生画面に戻ります。

1

2

A-2

※設定により画面表示は異なります。

●次ページへ続く

●前ページの続き

<「マルチ」を選択した場合>

C-1 上下または左右ボタンを押して消去するファイルを選択(黄色の枠を移動)し、OKボタンを押します。
消去するファイルが複数の場合は、この作業を繰り返します。
選択したファイルにはゴミ箱マークがつきます。

C-2 メニューボタン Ⓜ を押します。

C-3 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

はい: 選択されたファイルを消去します。
キャンセル: 消去しないで再生メニューに戻ります。

C-4 再生画面に戻ります。

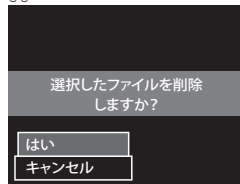
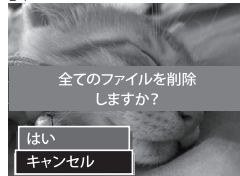
<「全て」を選択した場合>

D-1 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

はい : すべてのファイルを消去します。
キャンセル : 消去しないで再生メニューに戻ります。

◆消去されたファイルは、元に戻りませんのでご注意ください。
◆保護されたファイルは消去されません。
◆ファイルを素早く消去するにはP「クイック消去」をご覧ください。
◆選択されている項目は、黄色枠で表示されます。

C-1

C-3

D-1

※設定により画面表示は異なります。

スライドショー

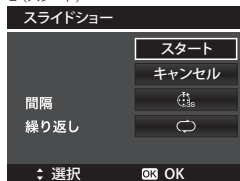
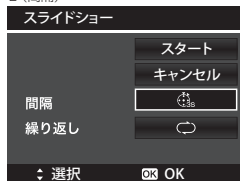
メモリーに記録されている全ての静止画を、一定の間隔で表示します。

1.「スライドショー」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、または左または右ボタンを押して設定します。

スタート	：OKボタンでスライドショーをスタートします。
キャンセル	：OKボタンで再生メニューに戻ります
間隔[初期設定:3秒]	：スライドショーの表示間隔を以下から設定します。「1秒」「3秒」「5秒」「10秒」
繰り返し[初期設定:連続]	：スライドショーの繰り返しを設定します。「繰り返し表示」「一巡すると終了」

3. OKボタンを押すと、「続ける」「終了」と表示されます。
終了する場合は上または下ボタンを押して「終了」を選び、OKボタンを押します。

4. 再生モードに戻ります。
スライドショー中に再生ボタンを押してもスライドショーを終了します。

◆静止画のみの機能です。動画は表示しません。

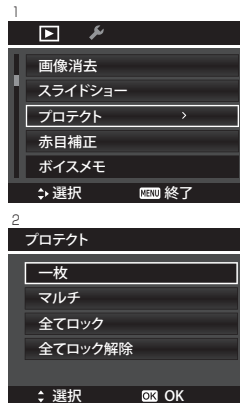
プロテクト(保護)

撮影したファイルの誤消去を防ぐために保護します。

1.「プロテクト」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

1枚	:選択したファイルを保護します。
マルチ	:同時に複数のファイルを保護します。
すべてロック	:すべてのファイルを保護します。
すべてロック解除	:すべてのファイルを保護解除します。

●次ページへ続く

●前ページの続き

<「1枚」を選択した場合>

A-1. 左または右ボタンを押して、保護するファイルを選択します。

A-2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

ロック ：表示中のファイルを保護します。

→ロックアイコンが現れ、切り替え表示は「ロック解除」に変わります。

終了 ：ロックしないで再生メニューに戻ります。

A-3. 保護（ロック）を解除する場合は、左または右ボタンを押して、解除するファイルを選択します。

上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

ロック解除: 保護設定を解除します。

→ロックアイコンが消え、切り替え表示は「ロック」に変わります。

終了 ：解除しないで再生メニューに戻ります。

●次ページへ続く

A-2

A-3

※設定により画面表示は異なります。

再生モード

●前ページの続き

<「マルチ」を選択した場合>

B-1. 上下または左右ボタンを押して、保護するファイルを選択(黄色の枠)し、OKボタンを押します。この作業を繰り返し、複数選択します。

※保護されたファイルを選択してOKボタンを押すとロックが解除されます。

B-2. メニューボタン Ⓜ を押します

B-3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

はい　　　：選択されたファイルを保護します。

キャンセル：保護しないで再生メニューに戻ります。

B-1

B-3

●次ページへ続く

※設定により画面表示は異なります。

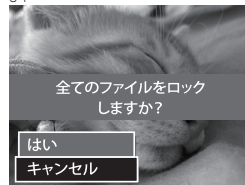
●前ページの続き

<「全てロック」を選択した場合>

C-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

はい　　　：すべてのファイルを保護します。

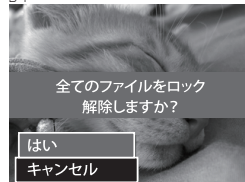
キャンセル ：ロックしないで再生メニューに戻ります。

C-1

<「全てロック解除」を選択した場合>

D-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

はい　　　：すべてのファイルを保護解除します。

キャンセル ：解除しないで再生メニューに戻ります。

D-1

◆保護されたファイルには アイコンが表示されます。

※設定により画面表示は異なります。

赤目補正

撮影した静止画の赤目を補正します。

暗い場所でフラッシュ撮影すると黒目が赤く写る場合があります。

1.「赤目補正」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

スタート	：赤目を補正します。
キャンセル	：補正しないで再生メニューに戻ります。

3. 下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

上書き	：元のファイルに上書きして保存します。
名前付け保存	：新しいファイル番号で保存します。
キャンセル	：保存しないで再生メニューに戻ります。

1

2

3

※設定により画面表示は異なります。

◆別ファイル保存（名前付け保存）をお薦めします。
◆すべての撮影条件で動作を保証するものではありません。

ボイスメモ(音声メモ)

P.81「ボイスメモ(音声メモ)の付加録音」をご覧ください。

カラーコード(色効果)[初期設定:オフ]

撮影した静止画を編集(色効果などを加える)印象の異なる写真にします。

1.「カラーコード」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

- オフ：効果を加えません。
- セピア：セピア画像にします。
- モノクロ：白黒画像にします。
- 赤：赤色のフィルターを装着したような効果を加えます。
- 緑：緑色のフィルターを装着したような効果を加えます。
- 青：青色のフィルターを装着したような効果を加えます。

3. 別ファイルとして保存され再生メニューに戻ります。

1

2

◆編集された写真は別ファイルとして保存されます。
◆静止画のみの機能です。

※設定により画面表示は異なります。

アート効果[初期設定:オフ]

撮影した静止画に各種の効果を加えます。

1. 「アート効果」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

	オフ	:効果を加えません。
	ネガ	:ネガ風にします。
	モザイク	:全体にモザイクをかけます。
	星形	:光源などの明るい位置に星形を付加します。
	ミニチュア	:ジオラマ風にします。
	ペイント	:イラスト風にします。
	スケッチ	:スケッチ風にします。

3. 別ファイルとして保存され再生メニューに戻ります。

1

2

◆編集された写真は別ファイルとして保存されます。
◆静止画のみの機能です。

※設定により画面表示は異なります。

トリミング

撮影した静止画をトリミングします。

1. トリミングする静止画を選択して表示します。
2. 「トリミング」を選択し、サブメニューを表示します。
3. ズームボタンの左または右を押して拡大率を決定し、上下または左右ボタンを押して、選択範囲を移動し、OKボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

上書き	：元のファイルに上書きして保存します。
名前付け保存	：別ファイルとして保存します。
キャンセル	：保存せず再生メニューに戻ります。

2
3
4
※設定により画面表示は異なります。

◆3:2、16:9、1:1、VGAサイズのファイルはトリミングできません。
◆別ファイル保存（名前を付け保存）をお薦めします。
◆静止画のみの機能です。

サイズ調整

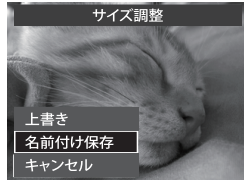
撮影した静止画のサイズを変更することができます。

1. サイズ調整する静止画を選択して表示します。
2. 「サイズ調整」を選択し、サブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

8M	：8Mに変更します。
5M	：5Mに変更します。
3M	：3Mに変更します。
VGA	：VGA（約30万画素）に変更します。

4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

上書き	：元のファイルに上書きして保存します。
名前付け保存	：別ファイルとして保存します。
キャンセル	：保存せず再生メニューに戻ります。

◆VGAサイズのファイルはトリミングできません。
◆VGAサイズは、e-mailに適したサイズになります。
◆サイズ小さくします。大きくすることはできません。
◆別ファイル保存（名前を付け保存）をお薦めします。
◆静止画のみの機能です。

※設定により画面表示は異なります。

起動画像［初期設定:システム］

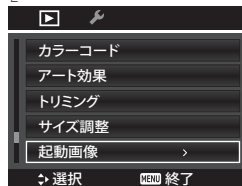
起動画面に表示する静止画像を任意設定することができます。

1.「起動画像」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

システム　：工場出荷時の起動画面に設定します。

マイ画像　：表示中のファイルを起動画面に設定します。
左または右ボタンを押してファイルを選択します。

オフ　　　：起動画面を設定しません。

◆起動画面に設定中のファイルを消去した場合でも、それにより表示される起動画面は変更されません。

DPOF

DPOFは、DPOFをサポートするプリンターを使い、SDメモリーカードに保存されている静止画を直接プリントしたり、写真店にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1. 「DPOF」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

一枚	：選択したファイルをDPOFに設定します。
全て	：すべてのファイルをDPOFに設定します。
リセット	：DPOF設定を解除します。

●次ページへ続く

●前ページの続き

<「1枚」を選択した場合>

A-3

A-1 左または右ボタンを押して、DPOF設定を行うファイルを選択します。

A-2 上または下ボタンを押して、プリント枚数を選択します。1～99枚まで指定することができます。指定を取り消すには、枚数を「0」にします。

A-3 機能ボタン Fn を押してプリントする写真への日付印字を選択します。
ボタンを押すごとに「日付スタンプオン」と「日付スタンプオフ」が切り替わります。
「日付スタンプオン」を選択すると日付印字設定が行われ、
「日付スタンプオフ」を選択すると日付印字設定は行われません。
OKボタンを押して決定すると アイコンが表示されます。

A-4 他のファイルもプリント指定する場合は、A1～A-3の操作を繰り返します。

◆撮影時に「日付プリントオン」に設定されている場合、日付スタンプをオフには設定できません。

●次ページへ続く

※設定により画面表示は異なります。

●前ページの続き

<「全て」を選択した場合>

B-1 上または下ボタンを押して、プリント枚数を選択します。1枚から99枚まで指定することができます。指定を取り消すには、枚数を「0」にします。

B-2 機能ボタン Fn を押してプリントする写真への日付印字を選択します。
ボタンを押すごとに「日付スタンプオン」と「日付スタンプオフ」が切り替わります。
「日付スタンプオン」を選択すると日付印字設定が行われ、
「日付スタンプオフ」を選択すると日付印字設定は行われません。

B-3 OKボタンを押して決定すると アイコンが表示されます。

B-1

<「リセット」を選択した場合>

C-1 上または下ボタンを押して、以下のいずれかを選択しOKボタンを押します。

はい：DPOF設定を解除します。
キャンセル：DPOF設定を解除せず、再生メニューに戻ります。

C-1

※設定により画面表示は異なります。

◆DPOF設定したファイルは アイコン表示されます。
◆静止画のみの機能です。

放射状のぼかし

撮影した画像に、放射状のぼかしたような効果を加えます。

1. 「放射状のぼかし」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

高	：効果を強調します。
標準	：効果を加えます。
低	：少し効果を加えます。
キャンセル	：効果を加えません。

3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

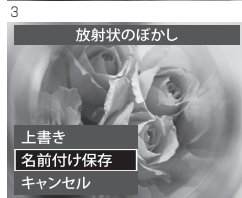
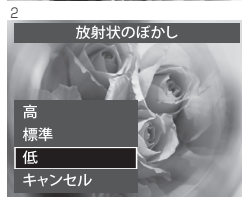
上書き	：元のファイルに上書きして保存します。
名前付け保存	：別ファイルとして保存します。
キャンセル	：保存せず再生メニューに戻ります。

1

2

3

※設定により画面表示は異なります。

◆3:2、16:9、1:1、VGAサイズのファイルには対応できません。
◆処理には多少の時間がかかります。
◆別ファイル保存（名前を付け保存）をお薦めします。

設定モード

設定メニュー

カメラの様々な設定を行います。

1. カメラの電源をオンにして、メニューボタン Ⓜ を押します。
2. 左または右ボタンを押して、「🔧 設定」を選択し、設定メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押し、各項目を選択し、サブメニューを表示します。

1

2

◆選択されている項目は、黄色枠で表示されます。

操作音［初期設定:オン］

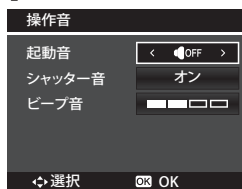
カメラの操作に関する操作音を設定します。

1. 「操作音」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、左または右ボタンを押して決定します。

起動音	：起動時の音をサウンド1～3から選択します。
シャッター音	：オン･オフを選択します。
ビープ音	：ビープ音（操作音）の音量を選択します。

3. OKボタンを押して決定すると設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

1

2

省電力（自動電源オフ）[初期設定:1分]

カメラを操作しない時間が一定時間続くと、電力節約のためカメラの電源が自動的にオフになります。

1.「省電力」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

1分：1分間操作しないと、液晶が自動的にオフになり、
その後1分で電源がオフになります。

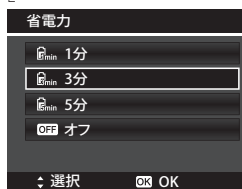
3分：3分間操作しないと、液晶が自動的にオフになり、
その後1分で電源がオフになります。

5分：5分間操作しないと、液晶が自動的にオフになり、
その後1分で電源がオフになります。

OFF オフ：自動電源オフ機能を無効にします。

3. 設定メニュー画面に戻ります。

4. 再度メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

◆以下のような場合、自動電源オフは作動しません。
·動画を撮影中または音声を録音中の場合。
·スライドショー、動画ファイル、音声ファイルを再生中の場合。

液晶の減光 [初期設定:オン]

カメラの操作に関する操作音を設定します。

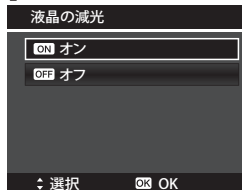
20秒間以上カメラを操作しない時間が続くと、電力節約のため液晶モニターの明るさが自動的に減光します。元の明るさに戻す場合は、いずれかのボタンを押します。

1. 「液晶の減光」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
   - ON オン：液晶の減光機能を有効にします。
   - OFF オフ：液晶の減光機能を無効にします。
3. 設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

日付設定

P.24「日付と時刻の設定」をご覧ください。

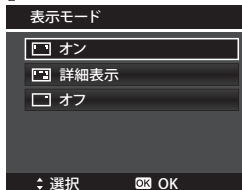
言語の設定

P.25「言語の設定」をご覧ください。

表示モード[初期設定:オン]

液晶モニターのアイコンなどの表示を設定します。

1. 「表示モード」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オン	:液晶モニター表示をします。
詳細情報	:液晶モニターに詳細な情報を表示します。
オフ	:液晶モニターに最小限の表示をします。

3. 設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

ファイル番号 [初期設定:続き]

ファイル番号の割り当て方法を設定します。

1. 「ファイル番号」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

   続き ：フォルダが変更されても、ファイル番号を連続で割り当てます。

   リセット：フォルダ変更されるたびに、ファイル番号は0001から始まります。

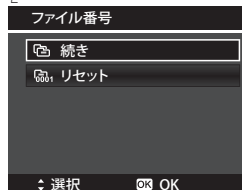
3. 設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

1

2

◆リセットに設定した場合、フォーマットすると、ファイル番号は0001から始まります。パソコンに保存する場合、上書き保存にご注意ください。

TV放送方式

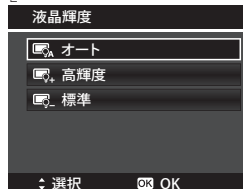
本機はTV接続に対応しておりません。あらかじめご了承ください。

液晶輝度 [初期設定:標準]

液晶モニターの明るさを設定します。

1. 「液晶輝度」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
   - オート ：自動で輝度を調整します。
   - 高輝度 ：明るめに表示します。
   - 標準 ：標準的な輝度で表示します。
3. 設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

◆高輝度に設定すると、屋外でも見やすくなりますが、電池の消耗は早くなります。

1

2

メモリキット(カードへコピー)[初期設定:フォーマット]

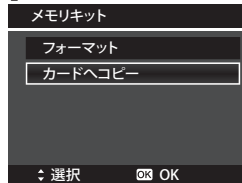
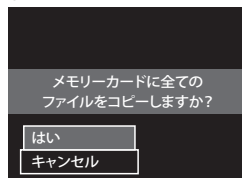
内蔵メモリーのファイルをSDメモリーカードにコピーします。

1. 「メモリキット」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

フォーマット　：メモリーをフォーマット(初期化)します。
P.21「SDメモリーカードのフォーマット」をご覧ください。
カードへコピー：内蔵メモリーのファイルを、SDメモリーカードにコピーします。

3. 「カードへコピー」を選択した場合、上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

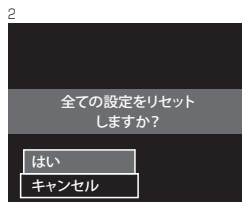
はい　：内蔵メモリーの全ファイルを、SDメモリーカードにコピーします。
キャンセル　：コピーせず、設定メニューに戻ります。

4. 設定メニュー画面から再度メニューボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

◆内蔵メモリーのファイル容量により、処理に多少時間がかかる場合があります。

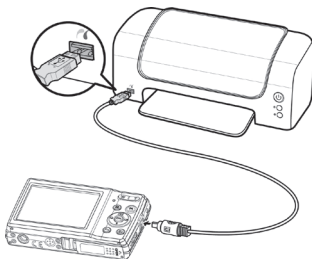
全てリセット(初期設定に戻す)

カメラの設定を、工場出荷時の設定に戻します。

1. 「全てリセット」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 上または下ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
   はい　　　：工場出荷時の初期設定に戻します。
   キャンセル：初期設定に戻さず、設定メニューに戻ります。
3. 設定メニュー画面に戻ります。
4. 再度メニューボタン Ⓜ を押すと、撮影画面に戻ります。

1
2
◆日付／時刻および言語は、初期設定に戻してもリセットされません。

プリンターとの接続

パソコンを経由せずに、撮影した静止画をご家庭のプリンターでプリントすることができます。

※接続したプリンターがダイレクトプリント対応プリンターでない場合、液晶モニターにエラーメッセージが表示される場合があります。

1.カメラとプリンターの電源をONにします。

2.付属のUSB-PC接続コードのミニ端子(小さい方)をカメラに、USB端子(大きい方)をプリンターに接続します。

3.「USBモード」が表示されます。上または下ボタンを押し、「プリンター」を選択してOKボタンを押します。

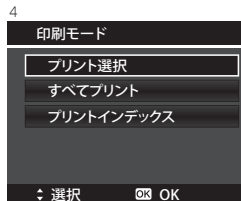
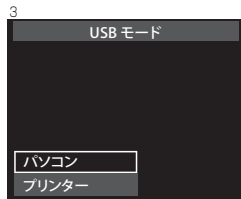
4.上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

プリント選択	:画像を選択してプリントします
すべてプリント	:すべての静止画をプリントします
プリントインデックス	:サムネイル表示をプリントします

3

4

印刷モード
プリント選択
すべてプリント
プリントインデックス
選択 OK

●次ページへ続く

プリンターとの接続

●前ページからの続き

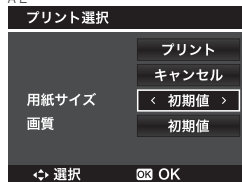
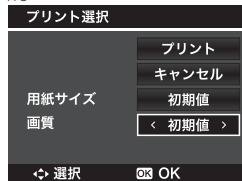
<「プリント」を選択した場合>

A-1.左または右ボタンを押してプリントする画像を選択し、上または下ボタンを押してプリント枚数を設定します。機能ボタン Fn を押し、日付プリントのオン·オフを設定します。設定後、OKボタンを押します。プリントする画像を間違えた場合は、プリント枚数を **0** に設定してください。

A-2.上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。左または右ボタンを押し、下記のいずれかを選択します。

初期値：プリンターの設定値
4"X6"：4×6インチサイズ
A4：A4サイズ

A-3.上または下ボタンを押し、「画質」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値：プリンターの設定値
ファイン：高画質
標準：標準画賃

●次ページへ続く

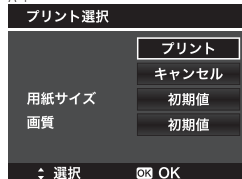
●前ページからの続き

A-4.上または下ボタンを押し、「プリント」または「キャンセル」 を選択し、OKボタンを押します。

プリント：プリントを開始します。

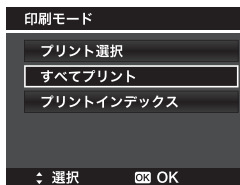
キャンセル：プリントしません。

プリント中は「印刷中」と表示されます。「印刷中」と表示中にメニューボタン Ⓜ を押すとプリントを中止します。
他の画像もプリントする場合は、A-1～A-4を繰り返します。

A-4

<「すべてプリント」を選択した場合>

B-1.上または下ボタンを押してプリント枚数を設定します。機能ボタン Fn を押して、日付プリントのオン·オフを設定します。
設定後、OKボタンを押します。

B-1

●次ページへ続く

プリンターとの接続

●前ページからの続き

B-2. 上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。左または右ボタンを押し、下記のいずれかを選択します。

初期値：プリンターの設定値

4"X6"：4×6 インチサイズ

A4：A4 サイズ

B-3. 上または下ボタンを押し、「画質」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値：プリンターの設定値

ファイン：高画質

標準：標準画質

B-4. 上または下ボタンを押し、「プリント」または「キャンセル」を選択し、OK ボ、タンを押します。

プリント：すべての静止画をプリントします。

キャンセル：プリントをしません。

プリント中は「印刷中」と表示されます。

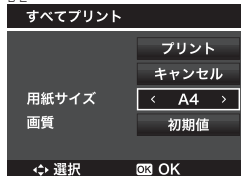
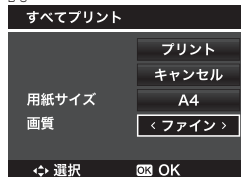
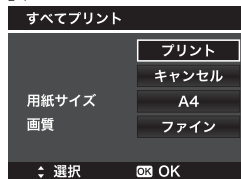
「印刷中」と表示中にメニューボタン Ⓜ を押すとプリントを中止します。

B-2

B-3

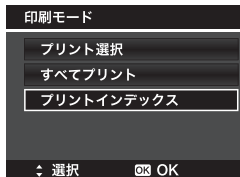
すべてプリント
プリント
キャンセル
用紙サイズ
A4
画質
‹ ファイン ›
選択
OK OK

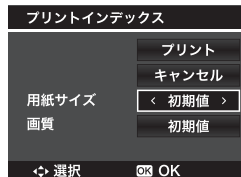
B-4

●次ページへ続く

プリンターとの接続

●前ページからの続き

<「プリントインデックス」を選択した場合>

C-1.上または下ボタンを押してプリント枚数を選択します。「プリントインデックス」では、日付プリントはできません。設定後、OKボタンを押します。

C-2.上または下ボタンを押し、「用紙サイズ」を選択します。左または右ボタンを押し、下記のいずれかを選択します。

初期値：プリンターの設定値
4"X6"：4×6 インチサイズ
A4：A4 サイズ

C-3.上または下ボタンを押して「画質」を選択します。左または右ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

初期値：プリンターの設定値
ファイン：高画質
標準：標準画質

●次ページへ続く

●前ページからの続き

C-4.上または下ボタンを押して「プリント」または「キャンセル」を選択し、OK ボタンを押します。

プリント：サムネイル表示をプリントします。

キャンセル：プリントをしません。

プリント中は「印刷中」と表示されます。「印刷中」と表示中にメニューボタン Ⓜ を押すとプリントを中止します。

◆選択されている項目は、黄色の枠で表示されます。
◆お使いのプリンターの設定をご確認ください。
◆お使いのプリンターにより、設定･表示などは異なります。

パソコンとの接続

カメラとパソコンを接続し、ファイルをパソコンに取り込みます。

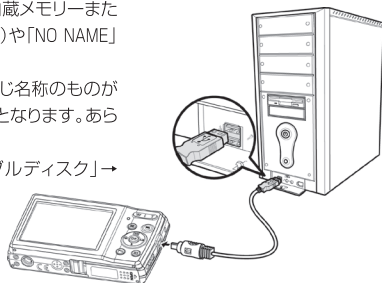
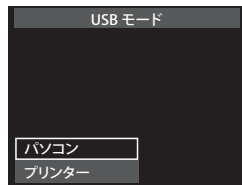
1.付属のUSB-PC接続コードのUSB 端子(大きい方)をパソコンに接続し、もう片方のUSB 端子(小さい方)をカメラに接続します。

2.パソコンとカメラの電源を入れます。

3.カメラの液晶モニターに「USB モード」が表示されます。
上または下ボタンを押し、「パソコン」を選択してOKボタンを押します。
初めてパソコンに本機を接続するとパソコンのモニターに「デバイス ドライバーソフトウェアをインストールしています」と小さく表示され、しばらくすると「デバイスを使用する準備が出来ました」と表示されます。

4.カメラの液晶モニターに「接続中」、その数秒後に「PC モード」と表示された後、カメラ側は非表示になります。パソコンのモニター上に、カメラの内蔵メモリーまたはSDメモリーカードのデータが「リムーバブルディスク」(Windows)や「NO NAME」(Macintosh)として表示されます。
※この時、「リムーバブルディスク」または「NO NAME」それぞれ同じ名称のものがもう一つ表示されます。その中で「MAGIX」ファイルはサポート外となります。あらかじめご了承ください。

5.Windowsの場合は「スタート」→「コンピュータ」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→ 「100DICAM」などにあります。
Macintoshの場合はデスクトップに「NO NAME」で表示されます。

6.終了する時は、各OSに適した方法で安全に付属のUSB-PC接続コードを外してください。

パソコンとの接続

◆カメラがパソコンに接続されると、カメラの液晶モニターの表示がオフになります。
◆お使いのパソコンのOSバージョンなどにより表示は異なります。

転送時のご注意　画像をパソコンに取り込む際には以下の注意事項をお守りください。

●[リムーバブルディスク]または[NO NAME]からデータをコピー中(画像取り込み時)は、USB-PC 接続コード、SDメモリーカードを絶対に抜かないでください。内蔵メモリー、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。
●[リムーバブルディスク]または[NO NAME]内にあるファイルの名前を変更しないでください。
●[リムーバブルディスク]または[NO NAME]内にパソコンのデータをコピーしたり、パソコンでフォーマットをしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
●[DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

ファイル名について

ファイル名は「DSCI」で始まり、連番の4桁の数字が後に付きます。新しいフォルダのファイル番号は0001 から始まります。フォルダ番号が999 またはファイル番号が9999を超える場合、「フォルダを作成できません」という警告メッセージが表示されます。その場合はメモリーカード内のデータをパソコンなどにコピーしてからカメラ本体でカードをフォーマットしてからお使いください。

●パソコン上で、メモリーカード内のフォルダ名および、ファイル名を変更しないでください。カメラでファイルを再生できない可能性があります。

パソコンで再生する

静止画、動画を再生します。

1. カメラとパソコンを付属のUSB-PC接続コードで接続します。（P.118「パソコンとの接続」をご覧ください。）
   「DCIM」内にあるファイルをパソコンに保存してください。
2. 対応OS（P.124「パソコン環境」をご覧ください。）で、静止画を再生できます。
   同様に対応OSに標準装備の「Windows Media Player」などで動画を再生できます。

◆パソコンとの接続時に、撮影データが格納された[リムーバブルディスク]または[NO NAME]以外に、もう一つ同じ名称のものが表示されます。この中には「MAGIX.EXE」ファイルが入っており、このファイルをクリック、（またはダブルクリック）することで、インターネット接続環境にあるパソコンにおいてはインストーラー（日本語非対応）が表示されます。こちらは当社でのサポート外となりますのであらかじめご了承ください。

トラブルシューティング

こんなときは

[症状] 電源が入らない	
[原因] 充電池の取り付け方向は間違っていませんか?	[対策] 充電池の±を確認し、正しい方向でセットしてください。(P17参照)
[原因] 電池残量は充分ですか?	[対策] 充電池を充電してください。(P16参照)
[症状] 電池またはカメラが熱を持っている	
[原因] カメラの連続使用またはフラッシュによるもので異常ではありません。	
[症状] 電源を入れるとすぐ切れる	
[原因] 充電池の残量不足では?	[対策] 充電池を充電してください。(P16参照)
[症状] シャッターボタンを押しても写真が撮れない。	
[原因] シャッターボタンが完全に押されていますか?	[対策] シャッターボタンを完全に押し込んでください。
[原因] メモリーカードの残量は充分ですか?	[対策] 新しいメモリーカードを使用するか、不要なファイルを消去してください。(P86参照)
[原因] フラッシュが充電中では?	[対策] 充電が終わるまで暫くお待ちください
[原因] メモリーカードがライトプロテクトされていませんか?	[対策] ライトプロテクトを解除してください。(P20参照)
[原因] メモリーカードは正しくフォーマットされていますか?	[対策] フォーマットできない場合、メモリーカードが壊れている
[症状] ピントが合わない	
[原因] レンズが汚れていませんか?	[対策] レンズペーパーか柔らかく乾いた布でレンズを拭いてください。
[原因] 正しい撮影距離で撮影していますか?	[対策] 正しい撮影距離で撮影してください。(P39参照)
[原因] シャッターを半押ししていますか?	[対策] 静止画の撮影をご覧ください。(P32参照)
[症状] ファイルが削除できない	
[原因] ファイルが保護されていませんか?	[対策] 保護を解除してください。(P89参照)
[原因] メモリーカードがライトプロテクトされていませんか?	[対策] ライトプロテクトを解除してください。(P20参照)
[症状] ファイルをダウンロードできない	
[原因] お使いのパソコンのハードディスクの空き容量は充分ですか?	[対策] パソコンのハードディスクの空き容量をご確認ください。

記録可能枚数／時間の目安

静止画の記録可能枚数

静止画サイズ	SDHC メモリーカード 4GB@6 以上		
	画質		
	スーパーファイン	ファイン	標準
16M	587	932	1372
8M	1152	1796	2656
5M	1851	2841	4072
3M	2777	4213	5091
VGA	13576	15273	17455

動画の記録可能時間

動画サイズ	SDHC メモリーカード 4GB@6 以上
720 p30	21分
VGA p30	50分

◆撮影の状況･被写体によって記録されるファイルサイズが一定でないため、記録可能枚数（時間）に差が出ます。
上記表は目安としてご参照ください。
◆記録可能枚数（時間）に達する前に電池残量が無くなる場合があります。

仕様

製品仕様

イメージセンサー	1/2.3型　CCD
総画素数	1656万画素
有効画素数	1620万画素
レンズ	f=4.6～23mm　F3.2/6.4
35mmフィルム判換算	26mm～130mm相当
ズーム	光学5倍　デジタル5倍
撮影距離	標準:約0.05m～∞(W) 約0.6m～∞(T) スーパーマクロ:約5cm(W)
液晶モニター	2.7型 TFT
内蔵メモリー	64MB
外部メモリー※1	SDメモリーカード 32MB～2GB SDHCメモリーカード 4GB～32GB SDXCメモリーカード 64GB
ファイル形式	静止画:JPEG 動画:MJPEG(AVI)/音声:WAV
静止画サイズ	16M、8M、5M、3M、VGA
動画サイズ	1280x720(30fps)※2、 640 x 480(30fps)
シャッタースピード	1/2000～1秒(自動)
ISO感度	自動、100、200、400、800、1600、 3200(3M、VGA)、6400(3M、VGA)
セルフタイマー	オフ、約10秒、約2秒、約10秒+約2秒(2枚)
内蔵フラッシュ	自動、赤目軽減、強制発光、 スローシンクロ、発光禁止 有効範囲:約0.5～3m(W)、0.5～1m(T)
露出補正	±2.0EV(1/3EVステップ)
ホワイトバランス	自動、晴天、曇り、白熱灯、蛍光灯H、蛍光灯L
電源	リチウムイオン充電池
手ぶれ軽減機能	装備(電子式)
出入力ポート	USB2.0
DPOFプリント	対応
ダイレクトプリント	対応
寸法(幅x高x奥行)	約100.4 x 59.0 x 21.5mm
質量	約105g(付属品、充電池を含まず) 約123g(充電池、SDメモリーカードを含む参考値)

※1 すべてのSD/SDHC/SDXCメモリーカードで動作を保証するものではありません。
※2 この動画サイズを選択するにはSDHC/SDXCメモリーカードを使用してください。

仕様

パソコン環境

以下の条件を満たすパソコンが必要になります。

〈Windows 対応 OS〉
Windows Vista (32 bit) / 7 (32/64 bit) / 8 (32/64 bit)
●CPU : Intel Pentium 4／2GHz以上　●メモリ : 1GB以上 ●ビデオカード : 128MB以上　●インターフェース : USB2.0

〈Machintosh 対応 OS〉
Mac OSX 10.6～10.8
●CPU : Intel Core 2 Duo以上　●メモリ : 2GB以上　●インターフェース : USB2.0

動作保証について
●上記動作環境は最低限の条件を満たした仕様です。ご使用のOSに対応した動作環境が必要になります。
●動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。予めご了承ください。
●各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
●USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証致しません。
●Windows XP(SP3)は動作しますが、サポート外となります。あらかじめご了承ください。

保証規定

保　証　規　定

(1)修理の際は必ず本保証書を添付のうえ、ご購入店または最寄りの当社営業所または出張所までお申し付けください。

(2)修理箇所は明確にご指摘ください。

(3)本保証書の添付なき場合は有料修理となります。正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。

（下記①～⑥など）

①取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障

②保存上の不備のため湿度などによって生じた故障

③火災や浸水･天災によって生じた故障

④当社以外の場所にての修理･改造･分解による故障

⑤その他類似的起因による故障

⑥消耗品（**充電池**、フラッシュの発光管等）のお取り替え

(4)ご購入年月日･ご購入店名のなきものは無効です。

(5)保証書は紛失されても再発行は致しませんので大切に保管してください。

(6)修理品に送料、交通費等が掛った場合はお客様にてご負担願います。

(7)当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証は致しません。

(8)出張による点検･修理･取扱説明･設定等には無償･有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。

(9) 保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

(10) 保証書は保証規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

［お願い］
修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

■個人情報について

※保証書を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢･性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

●お客様の承諾を得た場合。

●お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図られるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。